奈川の人口	
平成29年3月1日現在	
総世帯数	347世帯
総人口	746人
男	355人
女	391人

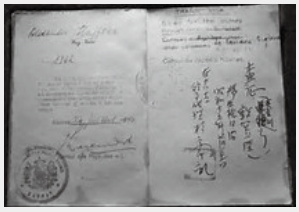
発　行　奈川公民館
発行者　勝山裕康
編集者　公民館報編集委員会
印　刷　（株）プラルト

人権視察研修
杉原千畝（ちうね）記念館

3月9日、奈川・安曇両地区の人権啓発推進協議会共催による、人権啓発視察研修が行われ、岐阜県の杉原千畝記念館を訪れました。

第二次世界大戦中に、遠いリトアニアの地に、日本領事代理として赴任していた際、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人の亡命を手助けしたことで知られている杉原千畝。戦時下の緊迫した状況のもと、国の命（めい）に背いてまで多くのユダヤ人を救った、後に「命のビザ」と呼ばれるビザを発給した、その行為はまさに、千畝の「人を愛する」「困っている人がいたら助ける」という信念のもとに行われたものでした。

昨今も戦争で祖国を追われ、難民となる大勢の人がいます。千畝のようにではなくとも、自分たちにできる何かのヒントを得ることができた研修となりました。



▲ 命のビザ

杉原千畝 ▶

古宿地区　地区の伝統
六地蔵の衣替え

2月24日、古宿地区の有志のみなさんが集まって、お地蔵さんの衣装の新調準備をしました。3月のお彼岸に行われる「念仏講」に合わせて、衣替えをします。

こんな風にして遠い昔から、お地蔵さんは女しょのあったかい手で守られているんですね。

▲ チクチクとコツコツと…

◀一つ一つ丁寧に縫っていきます

▶ お地蔵さんの赤いよだれかけと帽子

地域の宝を支える応援団

◀親子で陶芸に挑戦

ゴマシジミ保護のためのワレモコウの移植▶

◆28年度の主な活動◆

＊畑づくり　＊森の健康診断　＊そばづくり
＊ゴマシジミ保護活動　＊世代間交流
＊陶芸教室（保護者参加型）

２月７日、奈川小中学校コミュニティスクール運営委員会が学校にて行われました。

今年度の活動の振り返りや、これからの運営について協議がなされました。

奈川の「たから」である子どもたちを支え導き、一緒に育てる地域の活動はこれからも続きます。

奈川小中学校 コミュニティスクール運営委員会とは？

奈川地区の児童・生徒の学校活動をサポートする団体がコミュニティスクール運営委員会です。学校・地域・各団体・グループなどが連携した、一体型応援団として子どもたちをサポートしています。

寒中そばまつり

▶テーブルを囲んで

◀自分でとうじて、お椀へ

◀はじめてのそば打ち

2月5日、寒中そばまつりのメインイベント「寒中とうじそばまつり」がウッディもっくにて開催されました。

この日は、3種類（しょうゆ、キジ、みそ）のとうじそばが提供され、80名の参加者が舌鼓を打ちました。

「家でも作るが、この味はここでしか味わえない」「どれもおいしいけど、みそ味が意外とおいしかった」などの声が聞かれました。

子ども教室 卒業・進級を祝う会

2月22日、文化センター夢の森にて、奈川小学校放課後子ども教室「卒業・進級を祝う会」が開催されました。

小学校を卒業する6年生を中心にして行った風船割りゲームでは、1年生から6年生みんなが一緒になって夢中で風船を割っていました。

6年生と子ども教室で遊べる会はこれで最後でした。思いっきりはしゃいでゲームをしている6年生の姿を見て、今は小学生だけど春からは制服に身を包んだ中学生なんだと、登校する姿を頭に思い浮かべました。

小学生のみなさん、卒業・進級おめでとうございます。6年生が卒業しても、また子ども教室に遊びに来てくれることを心待ちにしています。

卒業進級おめでとう

野麦路

私の父は82歳で松本市の並柳に一人で暮らしている。

そんな父の一番の楽しみは「漢字」。書店で漢字パズルの本を買ってきては、ページを埋めることを繰り返している。本人によれば脳の活性化なのだという。

私が小学生の頃、夕食が済むと父は新聞広告の裏の白いものを持ってきて、「よし、今日は〈さんずい〉のつく漢字だ」と、母と私と妹に紙を渡していく。制限時間は5分で、父が一番多く書けるのは決まっているのだが、時には母が勝つこともあったりして、にぎやかな夜の時間を過ごしたものだ。

私が息子と娘を連れて父の家へ行くと、今度は孫相手に「この字が読めるかい？」と始まるのであった。

（竹田原　優子）